



小冊子



読者参加



コンテスト

新聞広告の日に合わせて書籍も発売

## 第37回新聞広告賞 広告主部門大賞受賞 東京都交通局「思い出ガタゴト 東京都電diary」

「思い出ガタゴト 東京都電diary」は日本新聞協会が実施する第37回新聞広告賞で広告主部門299件の中から大賞に輝いた。新聞広告賞は、新聞広告の新しい可能性を開拓した広告活動を顕彰し、優れた広告活動を展開した広告主企業、新聞社に贈られる。同作品は第8回中日新聞社広告大賞も受賞している。10月20日（金）に帝国ホテル（千代田区）で開かれた第60回「新聞広告の日」の記念式典で贈賞があり、東京都交通局の山手齊交通局長が登壇、受賞の喜びを「寄せられた思い出は都民の貴重な財産。心に残るおもてなしの心で、快適な交通を目指す」と語った。

「思い出ガタゴト 東京都電diary」は東京都交通局が、平成28年5月20日から8月15日まで一般募集した約500件の応募の中から選ばれた50のエピソードを掲載。都電と読者と東京新聞のコミュニケーションによって完成した。新聞広告の日に東京新聞出版部より書籍化され、新聞読者以外の方々にも懐かしい都電の思い出を届ける。

（東京本社広告二部 甲地正幸）



↑「思い出ガタゴト 東京都電diary」の書籍発売告知  
2017年10月20日 東京新聞夕刊



↑表彰を受ける山手交通局長（写真右）



↑中日新聞社広告大賞 最優秀賞とW受賞となった。  
山手交通局長（中）と制作代表者の電通 服部氏（右）